

基本計画

基本目標 5

健全な行政経営による接続可能なまち

第4次播磨町総合計画

基本計画中間見直し

政策 1 持続可能な行財政運営を進めるまちをつくる

施策 1

健全な行財政運営

取り組みの考え方

持続性のある健全な行政運営の推進に向けて、各種事業の適切な情報把握に努め、事業を計画的、重点的に実施するための体制づくりや、新たな行政課題に対応するための組織、人事管理の適正化を推進します。

また、町税等の収納率向上対策や受益者負担の適正化を図り自主財源の確保に努めます。さらに、限られた財源の中での効果的な事業実施に向けて、施策、事業の的確な評価の実施や、住民ニーズ等を把握し、無駄を省いた費用対効果の高い事業の選別を行い、健全な財政運営を図ります。

現
状
と
課
題

- 厳しい経済情勢は続いており、歳入の根幹となる町税収入は増加が望めない状況が予測されます。
- 人事管理の適正化を図るため、今後数年間における大量退職に対応するため、適正な定員確保を図るとともに、その培われてきたノウハウが確実に継承されていく体制づくりが必要となっています。
- 歳出では、義務的経費のうち人件費、公債費が減少傾向にあるものの、扶助費や特別会計への繰出金が年々増加傾向にあります。今後も少子・高齢化社会に向けた総合的な福祉施策、公共施設の適正管理、情報化への対応など、経常経費の増加は必至となっており、対応が必要となっています。
- 行政運営における PDCA サイクルの確立が必要であり、計画の実行に向けて、職員一人ひとりが役割・使命を再認識していくことが重要となっています。
- 過去に建設した公共施設等の大規模改修等の老朽化対策が必要となっており、多額の経費と財源の確保が必要となっています。

行
政
の
取
り
組
み

- 1) 効率的な行財政運営の推進
 - ・簡素で効率的な行政組織を確立するとともに、健全な行財政運営を進めます。
 - ・職員研修を充実するとともに、人事管理の適正化を図ります。
 - ・定年退職者等の知識や経験を継承していくため、再任用制度を有効に活用します。
- 2) 事務事業の整理合理化の推進
 - ・事務事業の必要性、有効性を見直し、経常的経費の削減や制度の目的を果たした扶助費・補助費等については廃止も含め検討します。

政策1 持続可能な行財政運営を進めるまちをつくる

行政の取り組み

3) 持続的な財政基盤の構築

- ・歳入確保のため、町税等の収納率向上対策の推進や使用料・手数料及び負担金等の受益者負担の適正化、未利用地の貸付や売却による財源確保に努めます。また、町有地の有効活用に努めます。
- ・所有する全ての公共施設等を対象に、現状や課題を客観的に把握、分析し、総人口や年齢別人口及び財政収支の見通し等も考慮した「公共施設等総合管理計画」を策定し、それに基づき施設管理を行うことにより、財政負担の軽減、平準化を図ります。また、財源の確保については、国県の補助金や後年度負担を考慮した町債（借金）も検討します。

4) 効率的なマネジメントシステムの構築

- ・「政策」「予算」「組織」を一体的に運用するとともに、総合計画における施策目標の進捗管理を行い、Plan（計画）-Do（実施）-Check（評価）-Action（処置・改善）のマネジメントサイクルが機能するよう行政経営の仕組みや全庁的な推進体制を構築します。

5) 住居表示の推進

- ・日常生活の便宜を図り、各種行政事務を円滑化するため、住民の理解と協力を得てわかりやすい住居表示に努めます。

地域の取り組み

- 地域で効率的に進められる取り組みについては、積極的に活動を行います。
- 行政サービスの確保のためにも、適正な受益者負担の責務を果たします。

まちづくり指標

指標名	単位	現状値	目標値 (H27)	評価値 (H27)	目標値 (H32)
経常収支比率	%	99.1	90.0	91.4*	90.0
健全な行財政運営 の満足度	点	2.6	2.8	2.9	3.0

※平成26年度値

関連指標の推移	単位	H22	H23	H24	H25	H26
経常収支比率	%	82.8	88.3	88.8	89.5	91.4

政策 1 持続可能な行財政運営を進めるまちをつくる

施策 2

広域行政の推進

取り組みの考え方

地方分権の進展及び効率的な行政運営を実施する上で広域的な視点からさまざまな事業を実施します。

また、広域行政を推進する中で、個々の自治体で実施する事業と広域で実施すべき事業を取捨選択することにより、財政の健全化を目指します。

現
状
と
課
題

- 国が推進した市町村合併や三位一体の改革により、自治体経営が窮地に立たされている現状を踏まえ、単独で存続していくための財政基盤の確立が求められています。
- 自治体ごとに存在する公共施設の維持管理費用が、財政を圧迫しており、今後は広域での活用を推進するとともに、施設の活用方法や運営面も視野に入れ、統廃合なども検討する必要があります。
- 実施されている広域行政においては、現状を分析することにより課題等を把握し、より安価で効率的な運営を目指すことが必要となっています。

政策1 持続可能な行財政運営を進めるまちをつくる

行政の取り組み

1) 自治体経営の健全化

- ・広域行政を推進することによるメリットをいかし、自治体経営のより一層の健全化を目指します。

2) 関係市町との連携

- ・今後も関係市町との連携と協調を深め、消防、交通、ごみ、医療や保健など、多岐にわたる広域的な課題に対応するとともに、播磨圏域連携中枢拠点圏による連携も含め緊密な相互協力のもと広域行政を推進します。

3) 事務の共同化

- ・ゴミ処理等、広域で共同処理することにより、投資効率が高まる事務はもちろん、それ以外の事務についても、近隣市町との共同化を検討します。

地域の取り組み

○実施されている広域行政については、その趣旨を十分理解するとともに、事業の活用に努めます。

○広域行政で実施されている事業には、積極的に参加したり、協力するよう努めます。

まちづくり指標

主な共同事務の内容	共同相手
常備消防事務	加古川市
救急医療事業	加古川市、稲美町
加古川総合保健センター	加古川市、稲美町
地域保健医療情報システム事業	加古川市、稲美町
東播磨農業共済事業	加古川市、高砂市、稲美町
加古郡衛生事務組合	稲美町
2市2町コミュニケアネットシステム	加古川市、高砂市、稲美町
緊急通報システム	加古川市、高砂市、稲美町
加古川歯科保健センター	加古川市、高砂市、稲美町
加古川夜間急病センター	加古川市、高砂市、稲美町
東播磨臨海広域ごみ処理	加古川市、高砂市、稲美町

2015 「播磨町いいところ写真」



撮影場所：野添北公園



撮影場所：野添五反田



撮影場所：野添であい公園パークセンター